

令和4年3月31日

横浜ナーサリー

職員 各位

令和3年度 自己評価 結果のフィードバック

令和3年度の自己評価として皆さんから提出いただいたコメントを資料にまとめました。

◆ に続く文章は一人の職員のコメントで、それらを項目ごとにそのまま記載しています。横浜ナーサリーの現状について、感想、課題の指摘、改善策など、書かれている内容は様々です。

さて、自分以外の職員のコメントについては、保育観や担当するクラスの違いから、すべてが共感できるものばかりではないかもしれません。しかしいずれも令和3年度中に職員（の誰か）が感じた事柄ですので、それらを参考にしつつ、「自分はどう感じたか？自分ならどうするか？」を考える参考にして下さい。そして、園として守ってゆくべき良い点を維持しつつ、改善すべき課題は改善できるよう、今後の保育に生かしていただければ幸いです。
(園長)

評価領域 I 利用者（子ども本人）の尊重

評価分類 I－2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施

評価項目 I－2－(1)

入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか。

- ◆ 一斉入園の子どもについては、大きな課題でないと把握するのは難しいと思う。（担当以外の職員の間では）情報共有に時間が掛かっているように思う。
- ◆ 児童票をゆっくり見る時間がないので、引継ぎの日（3月の最終土曜日）など時間を設けて、担任がその内容を把握する必要がある。又はリーダーがきちんと目を通して担任に引き継ぐべき。
- ◆ 保護者との面談を実施することで改善された。
- ◆ 入園前の面談にて各クラスのリーダーが子どもの様子を観察し必要に応じて記録を取り、クラスで話をしている。
- ◆ 新入児説明会や入所面談の際に生活調査票を使い把握するようにしている。
- ◆ 直ぐに把握は出来ていないが、関わる中で把握し、色々なかかわり方を試しながらその児に合った関り方を見つけています。
- ◆ 課題は直ぐには把握できないと思うが、発達状態の把握は出来ていると思う。
- ◆ 把握したつもりになっている事がある。
- ◆ 入園前に資料を読むようにしている。また、入園後は隨時把握するようにしている。
- ◆ 個別に面談を行っているため、ある程度は把握できていると感じる。
- ◆ 面談内容の報告をしっかり行って共有すべき。

評価項目 I－2－(2)

新入園児受け入れ時の配慮を十分しているか。

- ◆ コロナで入園式が無かったので、初日は9時前に保護者がバラバラに来てしまい、準備のやり方を丁寧に教えることが出来なかった。全員でなくとも何人かまとまって来てもらえると説明しやすいと思った。

- ◆ 食事面では丁寧だと思う。慣らし保育の期間を伸ばしたことは子どもにとってメリットが大きいと思う。
- ◆ リーダーがきちんと把握し、それを担任に下ろしている。
- ◆ 配慮したいとは思いながら、余裕を持って関われるほど手が空いていないときもある。
- ◆ 昨年度よりも慣らし保育の期間を長く設け、子どもへの負担が軽くなるように配慮している。
- ◆ 保護者に様子などを聞いて行えていると思う。
- ◆ 配慮しているものの、担任間の連携が難しいと感じる時がある。
- ◆ 特定の保育士に慣れてくれた後、次に多数の保育士、友だちへとステップを踏むようにしていた。
- ◆ 子どもの様子により慣らし保育の日程を考慮し子どもの負担を軽減するよう努めている。その際は保護者に説明をし、納得していただけるよう丁寧に対応を心掛けている。

評価項目 I－2－(3)

子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。

- ◆ 自分なりに状況に応じて計画は立てているが、複数担任であるため、共有は難しく、ずれがある。
- ◆ 年齢に合った計画を立てられていると思う。個別計画が必要なお子さんが増えつつあり、今後の記録の仕方が気になる。
- ◆ 乳児は個人記録を記入しており適切に行われている。
- ◆ 週案や日案をクラスで順に作成している。その際、子どもの発達に沿うよう計画してはいるが、個人差が大きいため難しいこともある。子どもの発達状況や状態を把握し、次の月の指導計画を作成し、クラスの中で話し合っている。
- ◆ 乳児や支援児は個別の経過記録を作成している。また、0歳児の年間カリキュラムや月間カリキュラムの様式を今年度より変更し、より細かく発達に応じたものが立てられるようになった。
- ◆

評価分類 I－3 快適な施設環境の確保

評価項目 I－3－(1)

子どもが快適に過ごせるような環境（清潔さ、採光、換気、照明等）への配慮がなされているか。

- ◆ 細かいところまで掃除が行き届いていないと感じる時があった。
- ◆ 冬場、加湿器を付けても部屋が乾燥してしまう。更に強力な加湿器を設置するか、増設した方が快適に過ごせると思う。
- ◆ クラスによってさまざまだと思う。ゆり組保育室の照明の暗さは特に気になる。保護者からも声が上がっており、改善が必要だと思う。
- ◆ （現状では無理だと私は思いますが）3歳児クラスの教室がもっと広かったら嬉しい。せめて、給食を食べるところ、蒲団を引くところにもっと余裕があるとよい。
- ◆ こまめに整理整頓を心掛けているが、クラスによってバラツキがあるように思う。（現状では）冬季の加湿が不十分だと感じる。
- ◆ 特に今は換気に気をつけています。清潔に保つよう十分配慮を心掛けているが、掃除面では個々にやり方や価値観が違うため、十分に行き届いているとはいえない。
- ◆ ゆり組の照明は暗く、暖房の効きも悪い。
- ◆ 出来ていると思うが、電気が切れた時に交換するのに時間が掛かっている。
- ◆ 湿度が足りないので、加湿器があれば良いと思う。
- ◆ 出来るだけ日に当たるようにカーテンが閉じたままの時は空けるようにした。加湿の配慮は冬季は特に不十分だった。
- ◆ 手が空いている時に、普段できない箇所の掃除をしたり、一定時間換気したりするようにしている。
- ◆ 部屋がとても乾燥している。加湿しているが20%未満の時もある。加湿器を増やしたい。
- ◆ 冬場の4、5歳児クラスの加湿が不十分ではないか。湿度の表示が「Lo」で測定できていない事がある。

評価項目 I－3－(2)

評価項目 I－3－(2)
沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。

- ◆ 2階は充実しているように思う。1階はビニールカーテンが取れたままになっており、温水設備が少ないと思う。湯をためる方式なので改善してほしい。戸外に温水シャワーがあるので、ほとんど使われていないのはもったいない。
- ◆ 設備はある。沐浴設備は1人使用するごとに洗浄し、清潔にしている。

評価項目 I－3－(3)

子どもの発達に応じた環境が確保されているか。

- ◆ 発達の個人差が大きく、難しさはある。
- ◆ 大型遊具に関しては4、5歳児には物足りず使い方が雑になっていると思う。幸い近所に公園が多数あるため、目的や発達の応じた遊具のある公園に起用している。
- ◆ 制作等は少人数で行い、発達に応じて工夫している。
- ◆ 2歳児クラスも2階のようにすぐ行けるトイレ、小さめのトイレ、幼児さんとは別のトイレが有つたらよいと思う。
- ◆ 確保されているが、改良の余地はあると思う。
- ◆ 椅子とテーブルの高さは十分に考慮されていなかった。個人差があるため、個別に対応できると、姿勢の安定につながる。
- ◆ 机や椅子の大きさは毎年子どもに合わせて配慮が必要だと感じる。

評価分類 I－4 一人一人の子どもに個別に対応する努力

評価項目 I－4－(1)

子ども一人一人の状況に応じて保育目標を設定し、それに応じた個別指導計画を作成しているか。

- ◆ 乳児と支援児は個々の経過記録があり、毎月目標を設定している。
- ◆ 担任同士で話し合い、個々の特徴や目標を確認し合う努力をしているが、作成には至っていない。
- ◆ 毎月、個々の状況に応じて目標を設定し、それについての配慮を考え作成している。
- ◆ 目標は設定されているが、5領域などに沿った個別指導計画はない。
- ◆ 支援児については個人記録を通して作成している。

評価項目 I－4－(2)

子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか。

- ◆ 対応はしているが、それを詳細に記録するまでには至っていない。
- ◆ 日々子どもの姿や発達の様子を個別に記入し、月末にはその取り組みへの振り返りを作成している。
- ◆ 経過記録や児童票を一人ひとり作成している。
- ◆ 口頭のみで、記録はあまり取れていない。
- ◆ 「個人記録」がその目的を果たす記録にあたると思う。
- ◆ 支援児については対応し、記録している。

評価分類 I－5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み

評価項目 I－5－(1)

特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有化されているか。

- ◆ 障がい児や配慮を要する子どもの受け入れを行っている。情報共有のため、会議やミーティングで報告しているが、職員一人ひとりがきちんと把握できているかは分からない。

- ◆ 共有はされていたが、意識に差がある。
- ◆ 会議や連絡ノートを使って共有しているが、細かい対応の仕方は担任に頼るところが大きい。
- ◆ 職員会議やミーティングノートなどで伝達しているが、共有できているか分からぬ。職員一人ひとりの意識にもよる。
- ◆ アレルギー児や発達・家庭事情に配慮を要する子どもの対応に関しては、各クラスで必要に応じて話し合い、会議で報告等を行い、職員間で共有されていると思う。
- ◆ 同じクラスの職員間ではされているが、他のクラスは漠然としかわからない。土曜保育を利用する配慮の必要な児童に関しては、もっと情報の共有があるとよいと思う。
- ◆ 午睡中の職員間で話しやすい環境があり、十分に共有できているため、この状況を続けて行きたい。
- ◆ 個人記録やミーティングノート、職員会議で伝えられていると思う。

評価項目 I－5－(2)

障害児保育のための環境整備、保育内容の配慮を行っているか。

- ◆ 担任同士で試行錯誤しながら行っている。もっと専門機関と連携を持って進められるとよいと思う。
- ◆ 大きな発達の差があり環境整備や保育内容が充実しているとは言い難い。危険の無いように見守り、個別的な対応をするよう心掛けている。
- ◆ 個別での対応を行っているが、足りない部分も多くあると思う。
- ◆ 保育士が工夫して行っていると思う。しかし限界があるので、人員や環境に対して投資する必要があると思う。
- ◆ 療育センターに通っているお子さんに関しては、指示された内容に従って実施できたが、通っていないお子さんは、職員間で話し合うことは無く、個々で実施していた。
- ◆ 現状のように十分な職員数が確保されている限り、個々に合わせた内容の保育が出来ると感じる。

評価項目 I－5－(3)

虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。

- ◆ 幼児になるとなかなか裸を隅々まで見ることが無い。子替えの時間や子どもの会話を通して気づくようにしたい。
- ◆ 疑わしい場合は、主任や園長に報告し、写真を撮って残している。また支援の必要な保護者にはさりげなく声を掛けながら見守っている。
- ◆ 子ども一人ひとりの様子や変化を見逃さないように心がけ、必要に応じて関係機関とも連携を取っている。
- ◆ すべてを早期発見することは難しいが、様子の変化などは記録に取ったりしている。
- ◆ 幼児に関してはあまり心がけているとは思えない。
- ◆ 朝受け入れの時に傷があれば聞くようにしている。またオムツ交換で発見した場合は職員間で情報共有する。

評価領域 II サービスの実施内容

評価分類 II－1 保育内容

[遊び]

評価項目 II－1－(1)

**子どもが主体的に活動できる環境構成（おもちゃ・絵本、教材、落ち着いて遊べるスペースなど）がで
きているか。**

- ◆ おもちゃの収納場所・方法や保育室内の配置の関係で、あまり主体的な活動が行えないと感じられ

- ることが時々あるので、保育雑誌等を参考に環境構成を工夫してゆきたい。
- ◆ 以前より意識している。一方で、持ち出し過ぎて片付けられなくなるケースが出てきており、物の扱い方等の指導をしている。
 - ◆ 絵本や玩具などは取り出しやすい棚より出して遊んでいるが、子どもが主体的に活動するためには十分とはいえず、場面に応じた工夫が必要だと反省している。
 - ◆ 現在まだ途上であるため、今後整備が必要だと思う。
 - ◆ 廃材で子ども達がもっと気軽に制作に取り組めるような教材を用意できればよかった。コーナー保育などにもチャレンジしてみたいと思う。
 - ◆ 環境構成への意識が高まってきており、ほぼ実践されている。
 - ◆ 出来ていると思うが、改良の余地はある。
 - ◆ 区切られたスペースがないため、仕切りを立て実施することもあったが、定着していなかった。刺激に敏感な時期のお子さんには、落ち着いて遊べるスペースはある程度必要と感じた。
 - ◆ なるべく発達に応じた玩具がほしい。玩具を購入したいと職員間で話が出ても、なかなか購入していただけない事もある。

評価項目 II－1－(2)

遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。

- ◆ 年齢に合わせた体の動き（鉄棒、なわとび、かけっこ等）は、「挑戦課題」として全員を誘うようにしてから、個々の遊びにするようにしている。無理には誘わず“怖さ”を与えないよう配慮している。好きな遊びを見つける、集中して遊ぶ、を目標にしたい。
- ◆ クラスにもよるが、少人数に分けて活動したり、個々の児童に合わせた遊びを取り入れたりしている。
- ◆ 子ども達の好きな物や興味のあるものを見つけ、遊びが楽しめるよう努めている。数人での遊びや一人遊び等でそれぞれが楽しんでいる。
- ◆ 活動の内容によって配慮している。
- ◆ 行事や食事以外一斉活動は無かった。

評価項目 II－1－(3)

動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか。

- ◆ 季節によって取り入れられるよう努力している。
- ◆ 取り入れてはいるが、栽培が中途半端になっているクラスがあり、残念であった。
- ◆ 近くの公園等に散歩に出かけ、自然や季節を感じられるよう声を掛けて楽しめるようにしている。また、移動中も子どもの気づいたものも大切にして会話が広がるように努めている。
- ◆ 以前より植物の栽培などは各クラスで行われており体験できるようになっている。
- ◆ 動物はアレルギー児もいるため難しい。
- ◆ 自然や動植物と触れ合う機会を増やすため、散歩を多く取り入れた。
- ◆ 園内でクラス毎に野菜などを栽培することは食育の一環としてとても良い取組みであると思う。プランターではなく、契約できる畠などが利用出来れば、地域の方とも触れ合えるし、そこでさつまいもやジャガイモなどを栽培出来たら、更に食育活動が充実すると思う。
- ◆ 栽培は以前と比べて育てたいものを育てることが出来るようになった。コロナ禍が落ち着いたら、地域の他の施設（例えば高齢者施設など）の方々と関わる機会を設けたい。

評価項目 II－1－(4)

子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。

- ◆ 保育士が楽しんで行う事で興味を示せる子がいる。無理強いせずに誘うようにしている。
- ◆ 子どものリクエストには応えるようにし、一緒に楽しめるようにしている。

- ◆ 子どもの好む曲を流して、踊ったり自由に粘土やお絵描きなどを行ったりできるようにしている。
- ◆ 子どもが好きな音楽を流し、身体を動かす事を楽しめるようにしている。
- ◆ 歌やリズム体験はほぼしていない。言葉で気持ちが言えないお子さんが数名いて、保育士との関りを通して問題を解決しようと思っていたが、十分な体験をさせられなかつたことを反省している。
- ◆ 自由遊びや行事を通して自分の気持ちを自由に表現できるようにしている。しかし内容が固定化しがちなので、子どもが関心を示す新しいものを取り入れていきたい。

評価項目Ⅱ－1－(5)

遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか。

- ◆ 意識して関わっているが、相性もあるので可能な範囲で努力している。
- ◆ (当クラスでは) 子どもと一緒に遊び、必要な時に仲介に入るよう心がけている。
- ◆ 子どもの姿を見守りながら、時には仲立ちをし、遊びを広げ、友達と遊ぶ楽しさを味わえるように働きかけている。トラブルになった時には必要に応じて仲裁し、お互いが納得して相手の思いにも気付けるよう対応している。常に子供に寄り添い、甘えたい時にはしっかりと受け止め、自信が持てるようにしている。子ども達が安心して生活できるよう努めている。
- ◆ 乳児はふれあい遊びを多く行い、関係が深まるようにしている。

評価項目Ⅱ－1－(6)

積極的な健康増進の工夫が遊びの中でなされているか。

- ◆ 保育の勤務時間が日々の活動に追われていて、新しい意見が出て来にくい。
- ◆ 天気の良い日には戸外に出て身体を動かし、遊びを楽しみながら健康増進取組んでいる。
- ◆ 室内でもジャングルジムや滑り台、音楽に合わせて踊ったり身体を動かしたりする活動を取り入れるようにしている。
- ◆ 担任同士話し合って工夫している。

評価分類Ⅱ－3 人権の尊重

評価項目Ⅱ－3－(1)

保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。

- ◆ とても意識している。
- ◆ 年上の先生の子どもへの叱り方が時々荒っぽい。子どもに「じゃまッ！」と言ったり、「泣いてでもいいから（給食を）食べなっ！」と言ったり、「寝ないなら泣かせてやろうか！」と言ったりする声を聞いたことがある。もう少し環境の見直しをするなり、子供を叱る必要がない環境づくりを行うとよいと思う。
- ◆ 他の職員の子どもへの関わり方、物品の扱いなどで気になる点がある場合には、本人に何がどのように適切でないかを分かりやすく伝えるようにしている。
- ◆ 残念ながら、子どもを呼び捨てにしている職員はいる。
- ◆ 危険な時など、呼び捨てや大きな声を出してしまう事があるため反省し、正さなければならない。叱る時は感情的にならず、何に対して叱られているのかを伝え、当該児が納得し受け入れられるように対応する。急かしたり、強制したりするのではなく、子どもに合わせた保育を進めていく。
- ◆ 以前よりは名前の呼び方は改善していると感じるが、呼び捨てをしないなど、自分も含めて一人ひとりがもっと意識する必要がある。
- ◆ 呼び捨てをしないよう、担任間で意識している。

評価項目Ⅱ－3－(2)

必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。

- ✧ 空間が作れる用具（パーティションなど）を用意している。
- ✧ オムツ交換時はパーティションで囲っている。一対一で話したい時は、廊下や外に出て対応するようしている。
- ✧ 子どもの様子に合わせて、パーティションを使うなどして個別の空間を確保するようにしている。
- ✧ 静かに1対1で向き合えるような空間は無かった。

評価項目Ⅱ－3－(3)

個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しているか。

- ✧ 事あるごとに、「守秘義務」が出てくるので、周知できていると思う。ただ、現実には「何でそれをあなたが知っているの？」と思う事がある。
- ✧ 会議などでは常に意識付けできるよう伝えていると思う。
- ✧ 個人情報の記載されている書類は書庫に保管し施錠している。そのような書類は持帰ることなく、園内でのみ作成する。
- ✧ 周知はしているがまだまだ徹底は出来ていないように感じる。
- ✧ 個人情報が含まれた書類をカゴに入れたままにしている職員がいたため、再度周知を行ったことがある。
- ✧ 個人情報に関する内容は朝の報告で忘れないように細かく他の職員に伝え、取り扱いには注意している。

評価項目Ⅱ－3－(4)

性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。

- ✧ 配慮している。実際には性の違いから問題になりそうな行動が見られた時には、午睡や着替えなど、男・女に分けている事もある。
- ✧ 普段は特に男女で分けることなく保育している。
- ✧ 配慮はしているつもりだが、無意識で性差の役割に関する発言になっている事があるように感じる。

評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類Ⅲ－1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供

評価項目Ⅲ－1－(1)

地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みを行っているか。

- ✧ 行えていなかったかもしれない
- ✧ 行えていないと思う
- ✧ されていない。努力が必要。
- ✧ 地域への関りには、課題がある。相談員を置くなど開かれた園へお少しずつ改めるのはどうか？
- ✧ 行っていない。
- ✧ 行えていなかったため、磯子区で実施している子育て支援（の内容）に目を通す。
- ✧ 現在ナーサリーで行っている取組みとしてどのようなものがあるか把握できていない。もし既に行っている取組みがあるなら、職員間で共有できれば良いと思う。
- ✧ 特に行っていない
- ✧ 行えていない。
- ✧ 今現在、横浜ナーサリーでどのような取組を行っているのか把握できていない。取り組んでいる内容があれば職員で共有できれば良いと思う。

評価項目Ⅲ－1－(2)

地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を活かしたサービスを提供しているか。

- ◊ 分からない。
- ◊ 提供できていないと思う。
- ◊ されていない。努力が必要。
- ◊ 地域への関りには、課題がある。相談員を置くなど開かれた園へお少しずつ改めるのはどうか？
- ◊ 行っていない。
- ◊ 行えていなかったため、磯子区で実施している子育て支援(の内容)に目を通す。
- ◊ 特に行っていない。
- ◊ コロナが一段落したら、地域のお子さんに絵本の貸し出しなどが出来るとよいと思う。

評価分類Ⅲ－2 保育所の専門性を活かした相談機能

評価項目Ⅲ－2－(1)

地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。

- ◊ 分からない。
- ◊ 応じていないと思う。
- ◊ されていない。努力が必要。
- ◊ 育児相談の仕組みが出来ていない。
- ◊ 行っていない。
- ◊ 保育園に通園している方々とだけしかコミュニケーションが取れていない。
- ◊ 通所している児の育児相談は行っているが、それ以外は行っていない。
- ◊ 園見学に来られた方々には十分応じている。

評価項目Ⅲ－2－(2)

相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっているか。

- ◊ 分からない。
- ◊ 関係機関と連携できる体制になっていると思う。
- ◊ 地域医療センター、児童相談所、消防署、などと連携が取れる体制となっている。
- ◊ 通所している児に関する連携は取れる体制となっている。
- ◊ 在園児に関しては連携を図るようにしているが、地域の他の児童に対しは出来ていない。上記Ⅲ-1、Ⅲ-2に見られる状況と同様に、地域支援全体への取り組みが弱い。

以 上